

英語科の実践

◆テーマ

バックワードデザインを意識した単元計画作成とICTの活用について

◆本校の実践

○「主体的な学びのプロセスモデル」の実施

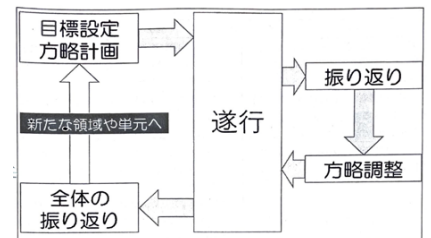
<全体研究との関連>

本校英語科では、単元の中だけでなく、一単位時間の中でも、全体研究で示されている「主体的な学びのプロセスモデル」を計画的に実施している。

特に、学習の「見通し」を持たせることを意識し、単元の学習に取り組み

始める段階で単元末に課すパフォーマンス課題やそのモデルを生徒に提示している。また、「形成的評価」を活用して、言語活動の中で実際に新出言語材料を運用する「遂行」を通して、「振り返り」から生じた反省や成果

をもとに「方略調整」をさせ、再度の「遂行」で成功体験を積ませることを意識した授業展開を実践している。



○「主体性」を評価するためのワークシートの開発

本校英語科における「主体性」

- ・興味や関心を持って学習に取り組み、目的や目標の実現に向けて、振り返りなどを通して自己調整をしながら、粘り強く課題に取り組む姿 → **考えを巡らせる生徒の様子**
- ・まとまりのある英文や生身の人間から得た情報をもとに、自分の意見や考えなどをもち、地域課題や身近な生活上の課題を解決するための最適解を見出して、相手に伝えるまたは発信する姿 → **メッセージの内容**

生徒の内面（学習調整、粘り強さ）を言語化させ、可視化する工夫

- ・授業ごとの自己評価
- ・パフォーマンス課題に向けた学びの把握
- ・パフォーマンス課題の成果

○ICTの活用

- ・Google Workspace（コアサービス）；Classroom, Forms, Jamboard, スライド, サイト...
- ・ロイロノート・スクール
- ・Kahoot!

◆参加者の皆さんと意見交換したいこと

- ・各校（先生方）における「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実際
- ・英語学習において効果的なICT活用方法

※先生方が日々の授業実践で難しさを感じていることや今後の授業実践に必要なだお感じになられていることなどについて情報交換できる場にてきたら、と思います。気軽にご参加くださるようお願いいたします。